

## 東京2020オリンピック・パラリンピックに係る取組状況について

### 1 新型コロナウイルス感染症対策に関する動向

東京2020大会での新型コロナウイルス感染症対策について総合的に検討、調整するため、国、東京都、大会組織委員会等で構成する「新型コロナウイルス感染症対策調整会議」が、昨年9月から12月までに計6回開催されました。

昨年12月の第6回会議では、「中間整理」として、アスリート・大会関係者・観客の3つのカテゴリーにおける入国、輸送、会場など場面ごとの対策や、今後のスケジュールが示されました。

その中でも、観客数の上限及び外国人観客の取扱いは、今年の春までに決定するとなっています。

今後、国、東京都及び大会組織委員会は、この中間整理に基づき、制度やガイドライン等の策定等を行う予定です。

本市においては、それらを踏まえ、引き続き安全・安心な大会運営に向けて関係各所と連携し、準備を進めていきます。

#### ■中間整理概要（本市開催に関係する項目を中心に抜粋）

カテゴリー		対策例※1	今後の主なスケジュール
アスリート		【組】行動ルールの策定、必要な検査の実施等	【組】大会期までに順次調整
都市ボランティア		【都】暑さ対策と両立した感染予防策、活動前後の体調管理等	【都】感染予防マニュアルを策定し、大会期まで適宜改定
観客	観客数上限		【国】2021年春までに決定
	外国人観客の取扱い	【国】入国前・入国時検査、行動管理、健康管理等	【国】2021年春までに決定
	ラストマイル※2	【都、組】暑さ対策との両立、混雑箇所での注意喚起の徹底、体調不良者救護フローの策定等	【都、組】観客向けルールを作成し、2021年春までに自治体へ共有・説明
聖火リレー		【組】グッズ配布時の対策、著名人ランナー等の対策、事前及び当日における対策の周知等	【組、都道府県】ガイドラインを策定し、聖火リレーまでに具体的な対策を調整
ライブサイト※3		【組】会場レイアウトの検討、人数の抑制等混雑・密集防止、配布物の据え置き等	【組】指針を策定し、大会期まで自治体と協議、調整 【自】指針を基に計画を作成
ホストタウン・事前キャンプ		【自】各場面（移動、宿泊、練習等）における対策、選手等の健康管理・行動管理、選手等への検査の実施等	【自】国が策定した「選手等受入れマニュアル作成の手引き」を基に受入れマニュアルを作成

【 】は実施主体（【組】…大会組織委員会 【都】…東京都 【自】…自治体）

※1 対策例…一般的対策（マスク着用、手指消毒、ソーシャル・ディスタンス確保等）は各カテゴリーで共通して実施

※2 ラストマイル…観客が大会期間中、観客利用想定駅から競技会場まで入退場する経路

※3 ライブサイト…大会期間中、競技会場で誰もが大型スクリーンを利用した競技中継等を通じて競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できる機会を提供する場。競技観戦以外にも、競技体験、文化発信、大会パートナーの出展等を実施

### 2 本市の取組状況

#### (1)大会運営支援

安全かつ円滑な大会運営が行えるよう、交通規制や暑さ対策など、大会組織委員会と連携して準備を進めています。

## ■主な取組内容

交通規制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客の安全や選手・大会関係者の円滑な輸送確保のため、横浜スタジアム及び横浜国際総合競技場の両会場周辺で交通規制を行う予定で、市民生活への影響が最小限となるよう検討中</li> <li>・大会組織委員会では、大会関係者輸送ルートとなる市道において、路面表示や立て看板等を設置し周知していく予定</li> </ul>
暑さ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会組織委員会と連携し、アプリ等の様々な手段を活用した観客への注意喚起、暑さ対策グッズの配布、日よけテントや救護所の設置など、熱中症予防と救護の観点から対応を検討中</li> </ul>

## (2) 都市ボランティア

大会延期に伴い、横浜市・都市ボランティアの皆様には活動継続の意向確認を行い、約2,400名の方から引き続き活動を希望するとご回答いただきました。大会本番で安全・安心で充実した活動となるよう準備を進めています。

### ■主な取組内容

ボランティア通信の発行 (2020年7月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ対策や感染症対策の検討状況、大会関連イベント情報等をお伝えするため、ボランティア通信「Tokyo 2020 City Cast Yokohama」を昨年7月から隔月で発行</li> </ul>
任意研修の実施 (2020年11月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアスキルや大会本番に向けたモチベーションの向上を図れるよう、横浜市スポーツボランティアセンターと連携し、昨年11月から、自宅のオンライン環境等での受講が可能な研修動画を配信中</li> </ul>
役割別研修の実施 (2021年1月～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年1月、大会延期後も活動を希望される方を対象に、各活動役割への知識を深めることと、大会本番に向けた機運を高めることを目的とした、オンライン交流会を実施</li> <li>・本年3月には、横浜市・都市ボランティア全員を対象に、大会本番での活動について具体的なイメージを持っていただくための研修動画を作成し、オンラインで受講していただく予定</li> </ul>

## (3) 機運醸成

### ア 機運醸成の取組

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントの実施形態を集客型から動画のオンライン配信に変更するなど、見直しを行いながら、250日前など大会の節目を捉えた機運醸成の取組を行っています。

### ■主な取組内容

<b>開会 250 日前の節目を捉えた取組</b> (令和2年11月15日～令和3年1月4日)	<b>①オンライン動画配信</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会場紹介や横浜ゆかりアスリートの練習状況、学校での取組を紹介する動画や、大会パートナー企業による多彩な動画を配信</li> <li>・トークショーやミニライブなどを生配信 (横浜ハンマーヘッドを拠点に11月29日開催)</li> <li>・再生回数：10,358回（1月4日時点 第1弾・第2弾延べ）</li> </ul> <b>②フォトロゲイニングイベント</b> <p>時間内に市内オリンピック関連施設などの指定したチェックポイントを回り、写真を撮って得点を集める「フォトロゲイニングイベント」を実施（パートナー企業（読売新聞社）と11月29日に開催）</p>	 <p>オープニングセレモニー</p>
--	--	--

<p>開会 200 日前の節目を捉えた取組 (令和3年1月4日～2月5日)</p>	<p>①アスリートやオリンピックからのスペシャルメッセージを配信 ②市庁舎1階アトリウム大型ビジョンを活用した、デイ・カウントダウン表示を開始(東京2020オリンピック開会まで表示)</p>
<p>共生社会×よこはま東横線跡地 「つながる、始まる。」 (令和2年10月18日)</p>	<p>・ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリー等の「共生社会」の実現に向けたイベントを開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ブラインドウォーク体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電動車いす WHILL(ウィル) 試乗</p> </div> </div>
<p>YOKOHAMA PEACE プロジェクト</p>	<p>・大会組織委員会の「PEACE ORIZURU」(オリンピック休戦・平和への願いを込めた折り鶴作成)や「東京五輪音頭-2020-」をテーマに、SNS等を活用したプロモーションを展開</p>

※開会半年前の節目を捉えた取組として、令和3年1月23日、24日に市内各所でのライトアップ及び点灯式を実施予定でしたが、令和3年1月7日発出の緊急事態宣言に伴い中止しました。

## イ パラリンピック競技の普及啓発

市立学校と連携したパラスポーツ普及プログラムについて、感染症対策を行いながら実施しています。

### ■主な取組内容

<p>パートナー企業と連携したワークショップ</p>	<p>パートナー企業 (NTT) と連携した「感じるスポーツラボ※」の実施 (1月末現在 7件実施) ※視覚に頼らず、振動、触覚を使ってコミュニケーションを行うワークショップ</p>
<p>オリパラ推進校等と連携したパラスポーツ普及プログラム</p>	<p>パラスポーツ体験、パラアスリート講演等 (1月末現在 29件実施)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボッチャ体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>パラアスリート講演</p> </div> </div>

## (4) 事前キャンプ・ホストタウン

令和3年度の事前キャンプ受入れに向け、英国やアフリカ諸国との調整や、コロナ感染症対策の検討、ホストタウンとしてオンラインを活用した交流などを実施しています。

### ■主な取組内容

<p>事前キャンプ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英国については、2019年7月に実施したプレ事前キャンプから引き続き、英国代表チームとの調整や検討</li> <li>・アフリカ諸国からご提案いただいている事前キャンプについても、受入れに向け調整中</li> <li>・コロナ感染症対策として、「新型コロナウイルス感染症対策調整会議」における中間整理の内容を踏まえ、川崎市や慶應義塾大学などの関係者とともに「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル」の作成など、検討・準備</li> </ul>
---------------	--

<p>ホストタウン※</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の拡大により、直接対面する交流が難しくなったが、英国については、オンラインを活用し、英国オリンピック委員会と横浜商業高等学校との交流、英国のバリアフリー有識者によるスポーツ施設管理者向けレクチャー、市内在住の英国人と市内小学生との交流などを実施</li> <li>・国際局をはじめ関係区局と連携し、ウェブサイトやオンライン動画配信イベントを活用したホストタウン相手国の紹介等の取組を実施</li> </ul> <p>※横浜市のホストタウン登録国（令和3年1月末現在）：英国、イスラエル国、チュニジア共和国、ベナン共和国、ボツワナ共和国、コートジボワール共和国、ブルガリア共和国、モロッコ王国、アルジェリア民主人民共和国（9か国）</p>
----------------	--



横浜商業高等学校と英国とのオンライン交流



開会 250 日前オンライン動画配信でのホストタウン応援ステージ

## (5) 聖火リレー

昨年9月28日、東京2020オリンピック聖火リレー及び東京2020パラリンピック聖火リレーの延期後の日程等が公表されました。

### ■延期後の日程等

<p>東京2020オリンピック聖火リレー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延期前のスケジュールから1日前倒しとなり、神奈川県内では、6月28日から30日までの3日間実施</li> <li>・横浜市内の走行は6月30日で、県内最終の聖火ランナーを迎え入れるセレブレーション（到着式）を横浜赤レンガ倉庫にて実施</li> </ul>
<p>東京2020パラリンピック聖火リレー （横浜市では聖火リレーは行われず、東京2020パラリンピック聖火フェスティバルのみ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県内では、聖火リレー※<sup>1</sup>は行われず、競技開催都県以外の43道府県で実施される「東京2020パラリンピック聖火フェスティバル※<sup>2</sup>」を実施</li> <li>・神奈川県内では、8月12日から15日の間で、横浜市を含む全市町村ごとに採火を行い、8月20日に東京都で行われる集火式で東京2020パラリンピック聖火となる予定</li> </ul> <p>※1 パラリンピック聖火リレー 8月12日から8月24日まで、競技開催自治体である3県（埼玉県、千葉県、静岡県）と東京都で実施</p> <p>※2 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 全都道府県及びパラリンピック起源の地である英国（ストーク・マンデビル）における「採火」と、開催都市東京への「火の送り出し（出立）」を中心としたイベント</p>